

ら い ち ょ う

Raicho

No. 158
2026.8.28

GIFU PHYSICAL THERAPY ASSOCIATION NEWS



(公社) 岐阜県理学療法士会 <https://gifu-pt.jp/>



第36回 岐阜県理学療法学会学術集会を終えて

第36回岐阜県理学療法学会学術集会 準備委員長 森 直之（中部国際医療センター）

2026年6月14日(日)、中部学院大学関キャンパスにおいて、第36回岐阜県理学療法学会学術集会を開催いたしました。434名という多くの皆様にご参加いただき、盛会のうちに無事終了することができました。ご参加いただいた皆様をはじめ、ご登壇いただいた講師の先生方、ご発表いただいた皆様、座長をお務めいただいた皆様に、心より御礼申し上げます。

今回の学術集会は、岐阜県理学療法士会中濃支部が中心となり開催いたしました。開催地となる中濃支部には、江戸と京を結ぶ中山道の宿場町・太田宿があり、また木曾川には、かつて人々の往来を支えた「太田の渡し」がありました。このテーマは、学会の方向性について大会長と話し合う中で生まれたものです。何気ない会

話の中で「渡し」という言葉が挙がり、地域の歴史や学会の目指す姿とも重なることから、「Crossing -渡し-」をテーマに掲げました。

本学術集会では、このテーマに込めた思いを形にするため、多様な視点や知見に触れられる企画を準備いたしました。

特別講演では、京都大学大学院医学研究科先端理学療法学講座教授の山口智史先生をお招きし、「痙縮のメカニズムとspastic movement disorderの治療戦略」と題してご講演いただきました。最新の知見と臨床応用に基づくお話は、参加者の皆様にとって大変、有意義な内容であったと思います。

本学術集会の企画として、岐阜県内の理学療法士養成校の先生方に教育講演の講師としてご登壇いただき

ました。岐阜県には特色ある理学療法士養成校があり、教育・研究・臨床の発展に大きく貢献されています。教育と臨床をつなぐ取り組みの一つとして、平成医療短期大学の田島嘉人先生、岐阜保健大学の鈴木啓介先生、中部学院大学の三川浩太郎先生にご協力をお願いしました。ご講演では、それぞれの専門分野における知見や臨床への応用についてご教授いただきました。いずれの講演も、「知識を臨床へどうつなげるか」という視点に富んだ内容であり、明日からの実践につながる学びの場となったことと思います。ご登壇いただいた先生方に心より感謝申し上げます。

そして何より、本学術集会では47題と多数の口述演題をご登録いただきました。例年を上回る多くの演題が集まりました。発表者の皆様が日々の臨床や研究活動を通して得られた成果や経験を共有してくださったことは、参加者同士の新たな学びや交流につながったものと感じています。

学会準備を振り返ると、中濃支部を中心に各支部の皆様のご協力により、一つひとつ課題を乗り越え、当日を

迎えることができました。特に大会役員の皆様には、長期間にわたる準備から当日の運営まで、多くの時間と労力を費やしていただきました。皆様のご尽力のおかげで、本学術集会を無事に開催し、終えることができましたことに深く感謝しております。また、会場校である中部学院大学の関係者の皆様には、多大なるご支援とご協力を賜りました。この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

私自身を振り返りますと、職場では橘田前会長、榎林前会長のもとで県士会活動に触れる機会をいただきました。また、その活動を通じて多くの先生方と出会い、交流を深めることができました。そこで得られた学びや人とのつながりは、今回の学術集会の準備や運営において、多くの方々と協力しながら取り組む上で大きな支えとなりました。今回の学術集会を通じて、改めて人とのつながりの大切さと、このような機会を通じて得られるご縁のありがたさを実感しております。

最後になりますが、第36回岐阜県理学療法学会学術集会に関わってくださったすべての皆様に深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

学会 評議員会より

第36回岐阜県理学療法学会学術集会にて、
優秀演題の表彰式を執り行いました



令和8年6月14日開催の第36回岐阜県理学療法学会学術集会(中部学院大学)の閉会式にて、最優秀賞1名、奨励賞2名の表彰式が執り行われました。

選出方法は、抄録の査読結果より表彰対象者を6名選出し、当日の開会式直後のセレクション演題セッションの発表内容にて、最優秀賞1名、奨励賞2名が選出されます。以下に受賞者をご紹介します。

最優秀賞

渡辺 伸一先生 (岐阜保健大学)

肺炎患者における初回離床までの日数と経口摂取機能回復の非線形的関連：制限付き三次スプラインを用いた検討

奨励賞

伊藤 兼先生 (岩砂病院)

進行性神経変性疾患に対するバーチャルリアリティ座位課題が立位および歩行へ及ぼす影響：症例集積による探索的検討

奨励賞

河田 龍人先生 (中部学院大学)

超音波エコーを用いた
アキレス腱構造体の機能解剖



写真左から松岡大会長、伊藤先生、渡辺先生、河田先生、河合会長

受賞者の皆様、誠におめでとうございます。皆様の今後の益々のご活躍をお祈りいたします。
なお、受賞された皆様の発表は、論文として岐阜県理学療法士会学術誌に掲載予定です。
本会の学術向上のため、今後も皆様の活発な演題発表、学術誌への寄稿をお願い申し上げます。

学会評議員長 菅沼 惇一

士会功労賞を 贈呈しました



令和8年6月14日に開催された公益社団法人岐阜県理学療法士会定時総会において、「士会功労賞」の表彰を行いました。

士会功労賞は、永年にわたり本会に在籍し、理学療法の発展ならびに本会の活動に多大な貢献をされた会員の功績を称えるものです。本年度は、岐阜県理学療法士会に40年以上在籍された会員と、県士会長を4年以上務められた会員の皆様に表彰状と副賞を贈呈し、長年にわたるご尽力に対して感謝と敬意を表しました。当日は会場において表彰を行い、ご都合により出席できなかった受賞者の皆様には、後日、表彰状と副賞をお送りしました。

受賞された皆様は、長年にわたる理学療法業務に加え、本会の事業や組織運営にも尽力され、岐阜県の理学療法の発展に大きく貢献されてきました。その豊かな経験とご功績は、本会にとってかけがえのない財産であり、今日の本会の礎を築くとともに、理学療法のさらなる発展に大きく寄与されています。

本会は、受賞された皆様の永年にわたるご貢献に心より感謝申し上げますとともに、今後ますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

<2026年功労賞 受賞者>

◆りあらいず和(わ)

おおたに たくや
大谷 卓也 先生

よしかわ まさこ
吉川 昌子 先生

◆あいざわ整形外科

きった まさと
橘田 正人 先生

◆岐阜県総合医療センター

きたむら よしひこ
北村 良彦 先生

◆岐阜県立多治見病院

まえだ きよたか
前田 清隆 先生

あまの さぶろう
天野 三郎 先生

◆中部脳リハビリテーション病院

まさばやし まさる
槇林 優 先生

◆羽島市民病院

ふなき かずお
舟木 一夫 先生

◆東可児病院

むらくも けん
村雲 憲 先生

表彰員会

ねんりんピック岐阜2025

感謝状贈呈式 参加報告

このたび、ねんりんピック岐阜2025における本会の協力・支援活動に対し、感謝状を賜りました。

感謝状はねんりんピック岐阜2025の成功に尽力した40の個人・団体に贈呈され、本会もその一団体として表彰を受けました。

ねんりんピックは、高齢者を中心としたスポーツ・文化・健康づくりの祭典であり、健康寿命の延伸や地域共生社会の実現を目指す重要な事業です。本会は理学療法士の専門性を活かし、介護予防・健康増進に関わる活動や運営協力等を通じて大会を支援してまいりました。

今回の感謝状は、日頃より地域に根差した活動を積み重ねてこられた会員の皆さま一人ひとりの取り組みが評価されたものと受け止めております。

今後も岐阜県理学療法士会は、県民の健康づくりの推進および地域包括ケアの充実に寄与できるよう、関係団体と連携しながら積極的に活動を展開してまいります。

会員の皆さまにおかれましては、引き続き本会事業へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

副会長 久保田将成



ぎふ清流ハーフマラソン 2026 参加報告



4月26日(日)に開催された「ぎふ清流ハーフマラソン 2026」に、会員11名で参加しました。天候は晴天で、走るにはやや暑さを感じるほどでしたが、穏やかな風が吹くなか岐阜の街と自然の中を、参加者全員が快走しました。

スタート前には全員で集合写真を撮り、和やかな雰囲気の中でお互いに交流しました。緊張もほぐれ、気持ちよくレースに臨むことができ、レース中は近くを走るランナー同士が声をかけあって楽しく走ることができました。

報告者(参加者代表)：河合克尚





こども福祉部

2026 岐阜こども福祉機器展

リハビリスタッフと見つける、この子らしい「できた！」のカタチ。

岐阜県理学療法士会 社会局 こども福祉部 栗本 大資

今年度もセラミックパークMINOにて「岐阜こども福祉機器展2026」を6月6日・7日の2日間にわたり開催し、無事終了することができました。

今年度は出展企業数が50社となり、来場者数は1,757名(運営スタッフ・企業スタッフを除く)に達しました。昨年度を上回る多くの皆様にご来場いただき、盛況のうちに開催することができました。

6日には、岐阜マムウインドアンサンブル様をお招きし、生演奏会を開催しました。約32名の演奏者による迫力ある演奏は、会場を心地よい音楽で包み込み、多くの来場者の皆様に楽しんでいただくことができました。準備を進める中で苦労や不安もありましたが、多くの方々が演奏に耳を傾ける姿を見て、胸が熱くなる思いでした。

また、7日には名古屋テレビ放送(メ〜テレ)様に取材いただき、来場されたお子さんへの同行取材も行われました。今回の福祉機器展の様子や、福祉機器を実際に活用している姿が広く紹介されることで、多くの方々に福祉機器の重要性や可能性が伝わることを願っています。

2日間を通して天候に恵まれない時間帯もありましたが、お子さんやご家族の皆様をはじめ、医療・福祉関係者、学校教育関係者など、多くの方々にご来場いただきました。特に近年は、ご家族だけでなく医療・教育関係者の参加も増えており、本展示会がさまざまな立場の方々をつなぐ場となっていることを実感しています。お子さんを中心として、多職種・他業種の方々がつながり、新たな出会いや知識の共有が生まれることで、誰かの力になれる機会を提供できたのではないかと感じています。

今後も岐阜こども福祉機器展が、困りごとを抱えるお子さんやご家族にとって有益な情報と出会いの場となるよう、さらなる発展を目指して取り組んでまいります。





ヘルス&ウェルネスステーション in イオンモール各務原インター



岐阜県理学療法士会では、イオンモール各務原インターにて、地域の皆さまの健康づくりを支援するイベント「ヘルス&ウェルネスステーション」を毎月第3火曜日に開催しています。

本イベントでは、InBodyによる体組成測定や体力測定会、コグニサイズ体験、ウォーキングなどを通して、多くの来場者にご参加いただきました。本年度は「歩く」をテーマに姿勢改善や転倒予防に関する講話を行っており、毎月異なる内容で新しい知識を楽しく学べるプログラムが好評です。

参加者からは「初めて知ることが多く、明日からやってみたいと思った」「運動する機会が増えた」といった前向きな声が多数寄せられており、地域の皆様の健康意識の高まりを実感しています。今後も、参加者が楽しみながら継続できる健康づくりを目指し、地域の健康維持・増進に貢献してまいります。





政策検討委員会

厚生労働省に「リハビリテーション統括調整室」新設！！

令和8年5月19日、上野賢一郎 厚生労働大臣の記者会見において発表されました。
これまで「リハビリテーションを考える議員連盟」が強く要望してきた、行政の縦割りを排し、リハビリテーション政策を強力に推進するための「司令塔」がついに現実のものとなりました。

上野賢一郎大臣は、リハビリテーション専門職の活躍の場が医療・介護のみならず、予防や健康増進にも拡大している現状に言及しました。特に以下の2点が設置の大きな要因として挙げられています。

- ①「攻めの予防医療」の具体化：国民の健康増進に寄与するため、専門職が果たす役割を戦略的に推進する。
- ②制度的見直しの検討：理学療法士及び作業療法士法の施行から約60年が経過し、役割の変化を踏まえた制度的な見直し(法改正)の必要性を検討する。



日本理学療法士連盟
ホームページ

岐阜県地域リハビリテーション協議会が設置！！

岐阜県令和8年度当初予算において、市町村の地域リハビリテーション活動支援事業の充実・強化に資するため、県における 地域リハビリテーション支援体制の整備を図ることを目的として、「岐阜県地域リハビリテーション協議会」が設置されることとなりました。令和7年度より新設された「地域リハビリテーション支援体制整備推進事業」による検討会を経て設置されました。今後協議会を開催し岐阜県における地域リハビリテーションのあり方の検討を行うこととなりました。

岐阜県地域リハビリテーション協議会設置までの経緯

令和3年5月 厚生労働省「地域リハビリテーション推進のための指針」の改定を受けて、当会より岐阜県理学療法士連盟と連携を図り、令和4年県当初予算から県政へ要望させていただいておりました。日頃からの政治活動が実を結ぶ機会となっております。



岐阜県理学療法士連盟
ホームページ

理学療法士の地域での活躍に期待

令和8年6月29日に開催された第135回社会保障審議会介護保険部会(厚生労働省)において、第10期介護保険事業(支援)計画(令和9年度～令和11年度)の「基本指針(案)」に地域包括支援センターの職員配置に「リハビリテーション専門職等」が明記されました。この指針は今後、岐阜県そして市町村における計画に反映されます。この出来事も令和4年度より「リハビリテーションを考える議員連盟」を通して要望してきたことが実現いたしました。

まだ基本指針(案)であり、「リハビリテーション専門職」の配置が必須ではないのが現状ですが、各地域で理学療法士が活躍し現政権が掲げる「攻めの予防医療」に寄与できることを推進してまいります。

当会の取り組み活動報告について日頃よりお世話になっている国会議員と意見交換をして理解を深めていただいております。



野田聖子 衆議院議員



田中昌史 衆議院議員・
古屋圭司 衆議院議員
斉藤秀之 日本理学療法士協会会長



斉藤りえ 衆議院議員



自民党政調会長
小林鷹之 衆議院議員



渡辺猛之 参議院議員

岐阜こども福祉機器展に岐阜県議会議員等がご来場いただきました。

昨年度より岐阜県より「こども福祉機器展事業開催補助金」を活用させていただいております。

必要な方に必要なサービスが届くように今後も引き続き働きかけてまいります。



今井なる 県議会議員
(多治見市)



木村千秋 県議会議員
(不破郡)



古屋圭司 衆議院議員
秘書 友江あつし 氏





ロコモチェック 参加者 **80名**
足健診 参加者 **47名**



イベント概要



- 岐阜県理学療法士協会協力のもと、2026年6月7日(日)9:00～12:15(最終受付時間 12:00)に「中央ライフデザインセンター」にて「足の健康診断」(以下足健診)を実施した。

足の健康診断の内容

総合評価の目安

A	足に大きな異変はなし、定期的なセルフケアを推奨
B	軽度の足のゆがみがある、定期的な足のケアを推奨
C	中等度の足のゆがみがある、足に靴やインソール等のケアを推奨
D	重度の足のゆがみがある、医療機関への受診を推奨

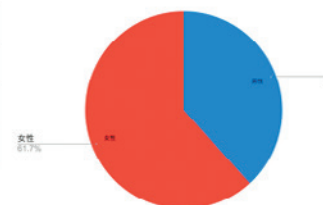
足健診結果サンプル



- JHCの足健診システムを使用し、その場で結果を印刷し、参加者に配布した。

実施結果：参加人数

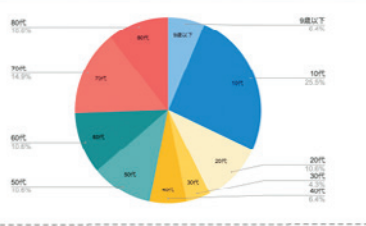
参加人数	
女性	29名
男性	18名
合計	47名



- 想定内の人数かつこれまでの足健診同様女性が多い結果であった

実施結果：参加年齢比

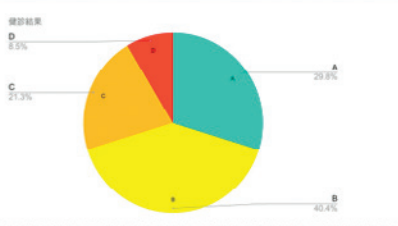
年齢	割合(%)
9歳以下	3
10代	12
20代	5
30代	2
40代	3
50代	5
60代	6
70代	7
80代	5



- 若い世代やお子さんの参加もあり、幅広い世代に参加して頂いた

実施結果：健診評価

健診結果	人数
A	14人
B	19人
C	10人
D	4人



- 全体の約7割がA・B評価
- 一方で約3割はフォローや介入検討が必要な層と考えられる

実施結果：参加者アンケート



参加者の声

「外反母趾の症状が出つつあり、相談できて良かった。予防など注意点を教えて持ったので助かりました」
「自分が気づけなかったことがわかり、理由も教えていただきに今後どうしたら良いのかも教えていただきとても良かったです」

考察

- 足健診の結果や参加者の声から、足に悩みのある方は一定数いるものの、足の悩みを相談する機会や場所がなく、足健診はそういった機会や場所の提供として有用である。
- 参加者の約3割がC・D評価であり、足部ケアや継続的なフォローが必要な層が一定数存在することが示された。
- 靴の選び方や履き方への関心も高く、今後は健診後の靴・インソール等の具体的支援につなげることが重要と考えられる。

公社)岐阜県理学療法士会 厚生部福利厚生事業

出産お祝いならびに子育て応援制度

当事業は、公社)岐阜県理学療法士会が、本会会員の子育て支援の取り組みとして、会員の子育てを応援し、安心して出産・育児に臨める環境づくりを支援するとともに、会員サービスの充実を図るものである。

基本事項

- 支援の対象は、本会の正会員であること。
(本人または配偶者)
- 原則出産日から6ヶ月以内の申請を行う事。
- 支給は1世帯につき1回の申請とする。
(多胎児の場合も1回の申請)
- 休会中の会員は復会日から6ヶ月以内に申請が可能。
- この制度は令和8年1月1日以降の出産が対象。

支援内容について

- 支援は申請が受理されたものに対してのみ行う。
- お祝い品は、3,000円相当のカatalogギフトを進呈する。
- その他不測の状況に応じた対応は会長の判断による。

申請の手続き

- 制度を希望する会員は、所定の申請用紙(HPよりダウンロード)をもって事務局に提出。もしくは、岐阜県理学療法士会のホームページより直接申請。

令和8年6月1日施行 厚生部

申請の流れ

- ① ホームページより申請書をダウンロードもしくは直接フォームに入力し申請。
- ② 申請用紙を用いる場合は事務局にFAXで申請。(FAX 058-277-6166)
- ③ 厚生部で受領次第、受付の連絡をmailにて行う。
- ④ Catalogギフトの進呈。(送付まで1ヶ月～3ヶ月かかります)



よくある質問(FAQ)

Q. 双子の場合は2回申請できますか

→ できません。1世帯1回の申請です。

Q. 申請期限を過ぎた場合は申請できますか

→ 原則として受付不可。ただし、災害・入院など特別な事情がある場合は個別判断。

Q. 産休・育休を理由に休会する場合は申請できますか

→ 休会中の申請はできません。配偶者が本会会員の場合は配偶者が申請していただくか、ご本人様が復会時に申請することは可能です(復会日から6ヶ月以内に申請が可能)。



募集

未来検討委員会の 委員公募のお知らせ

未来検討委員会とは

公益社団法人岐阜県理学療法士会の事業として、2026年度より発足する新しい委員会です。
今回、20代から30歳代の会員で、活動をしていただける仲間を募集いたします。

20年後、30年後にどんな未来が待っているでしょうか。
20代、30代の皆さんは、まさにその未来の当事者です。
未来はみんなで創っていくものです。
そのような志をもつ仲間を私たちは歓迎します。

募集人数 5名(20代から30歳代の会員)

申し込み方法(締め切り：令和8年10月31日)

下記リンクからお申し込みください。
<https://forms.gle/SVakciATqGP7ZsZc6>



※応募多数の場合は、
選考の上、決定い
たします。

活動概要

年2回程度の会議(オンラインまたは対面)を予定しています。
若手会員のニーズや声をもとに、岐阜県理学療法士会の将来像、会員価値の向上に関する
提言を行い、具体の事業として動かしていく役割を担います。
岐阜県理学療法士会の謝金規程に従って会議謝金をお支払いします。

問い合わせ先

岐阜県理学療法士会
事務局長 吉井秀仁(山内ホスピタル介護老人保健施設)
E-mail : yoshii@kanamekai.or.jp



「背中を見て学べ」では伝わらない

岐阜保健大学 リハビリテーション学部 理学療法学科 小池 孝康

教員になって、気づけば15年が経とうとしています。始めた頃は、経験を積めば自分なりの教育方法が固まり、迷うことも減ると思っていました。ところが、今も学生との関わり方に悩む毎日です。

教室を見渡すと、学生はタブレットをノートとして使い、板書をスマートフォンで撮影することも。分からないことはその場で検索し、解説動画を見始めます。私の学生時代とは異なる学習スタイルに戸惑うこともあります。良い悪いではなく、これが彼らにとって当たり前の学び方なのでしょう。

育ってきた時代や環境が違えば、得意なことや苦手なこと、常識、気持ちの表し方も違います。よく昨今の若者世代と一括りにされがちですが、便利な環境を生かして学びを広げる学生もいれば、多すぎる情報に振り回され、うまく学べない学生もいます。助言を貪欲に吸収しようと取り組む学生もいれば、周囲の言葉や評価を敏感に受け止めてしまう学生もあり、実に多様です。

考えてみれば、私たちの世代にも、積極的な学生、控えめな学生、勉強が得意な学生、そうでない学生がいました。大人にも、今も昔も実にさまざまな人がいます。一人ひとり違うことは、昔から変わりません。どちらかと言えば、時代や環境に合わせた多様な関わり方が求められるようになったのでしょう。お互いの背景や大切にしていることを尊重し合う必要があるのだと思います。

一方、学生の反応を気にするあまり、「怒ってはいけない」「叱ってはいけない」「厳しいことは言ってはいけない」と必要以上に構えるのも少し違う気がします。できてほしいことや変わってほしいところを、きちんと伝えなければならない場面はあります。何も言わずに見守るだけでは、教育にならないこともあります。

学生たちと接する中で重要だと感じたのは、「伝えたいことを、伝える形にする工夫」です。何のために伝えるのか、どう伝えれば届くのか。なぜ改善が必要なのかを説明し、学生の思いにも耳を傾ける。そして、人格ではなく行動について、できるだけ具体的に伝える。言いにくいことほど、日頃の関係性と伝え方が問われます。

私には今も、「もう少し自分で考えてほしい」「失敗してもよいから、まずはやってみてほしい」という思いがあります。ただ、背中を見せて待っているだけでは、その思いは伝わりません。時には立ち止まって言葉を交わし、一緒に考えながら、必要なところで少し背中を押す。まだまだ正解はわかりませんが、これからも試行錯誤しながら、目の前の学生と向き合っていきたいと思っています。



筆者(左)と学生(中・右)
タブレット片手に教員と実技の自主練習
(許可を得て掲載)

令和8年度 賛助会員

会社名・施設名	電話番号
有限会社 加納ビジネス 〒500-8456 岐阜県岐阜市加納大黒町2-32	TEL : 058-273-3007(代)
東名ブレース株式会社 〒489-0979 愛知県瀬戸市坊金町271	TEL : 0561-85-7355
中部学院大学 〒501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘2丁目1番地	TEL : 0575-24-2211
有限会社 であい工房 〒738-0034 広島県廿日市市宮内3300	TEL : 0829-39-0041
株式会社 K-support岐阜 〒503-1277 岐阜県養老郡養老町有尾20番地4	TEL : 0584-47-9507
有限会社 中部義肢 〒486-0911 愛知県春日井市西高山町3丁目16-12	TEL : 0568-34-7143
株式会社 松本義肢製作所 〒485-0805 愛知県小牧市大字林210-3	TEL : 0568-47-1701
株式会社 ケア 〒502-0848 岐阜県岐阜市早田本町1丁目9番地	TEL : 058-233-7981
昭和貿易株式会社 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目18番27号	TEL : 06-6441-5612
岐阜日産自動車 株式会社 〒500-8137 岐阜県岐阜市東興町1番地	TEL : 058-245-1313
岐阜保健大学 〒500-8281 岐阜県岐阜市東鶉2丁目92番地	TEL : 058-274-5001
学校法人誠広学園 平成医療短期大学 〒501-1131 岐阜県岐阜市黒野180	TEL : 058-234-3324
株式会社 Lee製作室 〒910-0374 福井県坂井市丸岡町北横地40-9	TEL : 0776-50-1105
株式会社 コーヤシステムデザイン 〒194-0212 東京都町田市小山町142-1	TEL : 042-798-4644



編集：矢代真也 印刷所：ヨツハシ株式会社